



No. 4 (10月11日発行)

今週10月7日(月)から3年生の面接指導を開始しました。入試で面接が課される受験生が各教室に分かれて練習し、担当の教員が指導しているところです。面接の目的は、書類審査や筆記試験では計ることのできない主体性や資質・能力等を直接会って見極めることにあります。10分間あるいは15分間という短い時間の中で「自分」という人間の良さを知ってもらうには、どのような準備が必要なのでしょう。今回の進路通信では、面接について徹底説明します。

～面接での心構え・礼法～

ある大学の先生が、面接の受け方について、著書の中で次のように記しています。

「面接では第一印象が重要だから、きちんとした身なりで出かける。部屋に入ったら、自分から名乗る。椅子にきちんと深くかけ、手は軽くにぎって膝の上に。質問に対して礼儀正しくハキハキと要領よく答える。相手の目を見て話す」

このような心構えは、どんな指南書にも書いてある。常識であろう。そして、これらは正しい心構えだ。是非守ってほしい。これだけのことを確実にできれば、面接試験で50点は取れると考えてよい。試験する側からいうと、これを完璧にできた受験生を落とすためには、特別の理由が必要だ。ただし、付け焼刃で演出しようとしても、無理である。普段の態度がなげない動作に現われるものだ。ありのままに振舞って、このようなことができなければならない。

野口悠紀雄 (一橋大学名誉教授) 『「超」勉強法』より

● 校内の服装・頭髪のルール＝そのまま入試に行ける恰好

男子生徒のズボンの丈やベルト、女子生徒のスカートの長さや頭髪(長い場合は束ねる)は、特に注意が必要です。また、爪は短く切っておきましょう。

● 質問をされたら必ず返事をする。

「はい、～は…です。」と受け答えすることで、一呼吸置くことができます。

● 先生方との日常の会話から「正しい言葉遣い」「敬語」を意識する。

友達との会話のような砕けた話し言葉や略語、接続助詞から始まる表現は、大きな減点の対象になります。最近、以下のような言い方をしている人をよく見かけます。

例1 × …です。なので、…だと思えます。

○ …です。以上のことから(このような理由から)…と考えています。

例2 × …って言うか、それは、…だと思えます。

○ …と言うよりも、むしろ、…だと思えます。

普段の生活から、目上の人に対して失礼のない(馴れ馴れしさを感じさせない)言葉で話そうとする習慣を身につけておきましょう。

～出題傾向と対策～

「志望理由」「高校生活」「自己PR」が最頻出の3大質問です。それぞれについて、よく聞かれる質問の例や対策の取り方を見ていきましょう。

1 志望理由を問う質問

「本学（本校）を選んだのはなぜですか」「志望の学部・学科（分野・コース）を選んだのはなぜですか」「推薦入試（AO入試）を希望した理由は何ですか」「入学後にしたいことは何ですか」「オープンキャンパスではどのような印象を持たれましたか」「本学の学風（本校の校風）についてどのようなイメージを持っていますか」「将来どのような仕事に就きたいと考えていますか」など

- 募集要項（アドミッションポリシー；建学の精神，校風，伝統，教育方針，教育内容など）をよく読む。
- 体験入学やオープンキャンパスなど、直接見聞きした情報を役に立てる。
- 普段から新聞やニュースに目を通し、志望の学部・学科（分野・コース）に関連性のある出来事について自分の考えをまとめておく。

パンフレットやウェブサイトなどに載っている文言を丸暗記して読み上げるのではなく、自分の言葉で直接見聞きした内容を答えます。論理的で具体的な回答だと説得力が高まります。

長めの答えになりそうときは、①結論 ②具体的な例、体験、理由、内容 ③結論 の構成を意識すると便利です。面接官が詳しく知りたいと思う場合は追加質問をしてくるので、一文一文を短く、分量を抑え目（余りにも多くの内容を盛り込みすぎないように）にした方が失敗を防げます。

2 高校生活を問う質問

「あなたの高校の特色を説明してください（あなたの高校を紹介してください、校訓を教えてください）」「高校生活で最も印象に残っていること（力を入れたこと）は何ですか」「高校生活で得たものは何ですか」「部活動には参加していましたか」など

- 素直に出身高校の良い点や自分の成長した点を説明する。

「楽しかった」などのように小・中学生が答えそうな表現は避けた方が無難です。「歴史や文化を学んだ」「協調性を磨いてきた」などのように、知的で人間味のある内容だと高校生相応の面接になります（高校入試のときの面接と同じでは駄目です。大学入試の面接では専門的な知識のレベルやそれに基づく見解，教養の豊かさが求められています）。

3 自己PR（人柄を問う質問）

「自己PRをしてください」「あなたの長所と短所を教えてください」「座右の銘を教えてください」「趣味は何ですか」「最近読んだ本の中で、最も印象に残っているものは何ですか」「最近のニュースで最も興味深かったことは何ですか」など

- 自分を見つめ直し、「面接ノート」を作って自身の回答をまとめておく。

長所については具体的なエピソードを添えて話し、短所については改善へ向けた努力を紹介するなど「自己フォロー」を付け加えます。進学後の学習や大学生活と絡めて回答すると、より好印象を与えることができます。また、趣味、最近のニュースや読んだ本については、若者しか知らない・娯楽色が強いものではなく、世代の幅や教養的な要素があるものが望ましいです。

< 模擬試験の日程 >

1・2年生 11/1・2 進研模試

（1年生は11/2のみ。2年生は、この模擬試験から理科・社会が加わります）

3年生 10/19 全統記述模試 11/1・2 ベネッセ駿台マーク模試